

商工会在実施した事業に対する補助金として次のとおり支出した。

**(1) 宿泊プラン等補助金（しんとつかわ割）**

5月1日から3月14日までの期間で、国や北海道の割引と重複しない時期に断続的に実施。3施設合計で延べ1417人の利用。北海道新聞朝刊に2回掲載した時の広告料と合わせた助成額は、1268万7000円。

**(2) 地域共通クーポン利用促進補助金（しんとつかわクーポン）**

北海道応援クーポン1000円分に対し、町が500円分の利用券を上乗せするもの。4540枚利用があった。道のクーポンと同時に利用するため、経済効果は3倍。681万円以上が町内で消費されたことになる。

**(3) 飲食店割引クーポン事業**

500円の飲食に200円の割引が適用される飲食店割引クーポン事業。  
6/10～7/20の41日間、10/22～11/30、1/17～2/28までの3回計124日。利用枚数は合計で、6万5004枚。チラシ印刷代や事務費なども含め、事業費は1320万3334円。事業者負担として、割引額200円のうち、20円（1割）を事業者が負担しており、印刷費や折り込み代に充てられた。

**(4) 宿泊業経営継続緊急支援事業**

R4年度に入っても宿泊者の戻りが鈍く、経営を大きく圧迫していたことから、事業の維持継続ができるよう、宿泊3事業者に対し、緊急の支援を行った。コロナ前の2カ年の平均宿泊者数との差を基に、1596万円を助成した。

**(5) 燃油価格高騰支援事業**

燃油価格高騰の影響を受けた中小事業者に対し、法人20万円を52件分、個人事業主5万円を22件分助成した。加えて、道路貨物輸送業への支援として、トラック1台当たり7万5千円を町内3社計45台に助成した。

**(6) 地元消費促進支援事業**

買い物ポイント2倍付与イベントの実施に対する支援。9/23～11/30までの間で97万8668ポイント、事務費を含めて102万292円を助成した。

**(7) 飲食業等経営継続緊急支援事業**

飲食店、宿泊業、飲食店との取引事業者への支援。忘年会や新年会が控えられたことから、11月から1月までの売り上げがコロナ禍前（令和元年）と比較して20%以上減少している事業者に対し助成を行ったもの。結果、対象になった飲食店は5件で460万7000円。また、宿泊業、飲食店との取引事業者2社31万9000円を助成した。

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した主な事業の実績**

○衛生用品の購入、農村環境改善センターへの抗菌剤の噴霧	984万7650円
○町税等のコンビニ収納を導入	340万6700円
○住民税非課税高齢者世帯および障がい者世帯に対し、1万2千円分の商品券を配布	957万3846円
○子育て世帯に対し、子ども1人当たり1万円分のできっすポイントを付与	882万0813円
○インフルエンザ予防接種を実施（インフルエンザ流行による医療機関の逼迫 <sup>ひっばく</sup> を回避）	207万7700円
○緊急経済対策事業	6526万5846円
○プロジェクターおよびタブレット端末を購入（小学校）	142万7360円
○オンラインドリルを導入（中学校）	50万6000円

**令和4年度決算審査 注目事業**

9月8日から13日までの日程で開催された決算審査特別委員会で、令和4年度一般会計、4特別会計の決算を審議しました。

新型コロナウイルス感染症の影響もある中、社会活動を少しずつ再開してきた令和4年度に実施された事業について、特に注目した事業をご紹介します。



**地域公共交通確保事業**

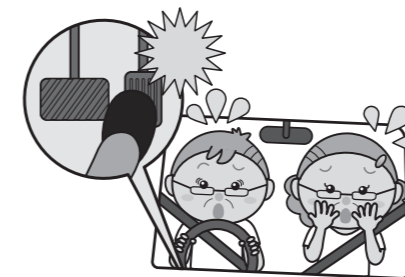
決算額 2734万4523円

公共交通の運行経費の負担分。旧体系の半年分の負担として、北海道中央バスに986万1514円、北星ハイヤーの乗り合いタクシーに353万7000円。新体系分の半年分の運行負担として、北海道中央バスに10万3259円、北星ハイヤーに350万4800円、誠和運輸に714万3000円を支払っているほか、4月からアプリの導入費8万8000円、バス停留所看板の交換26万4000円、農協バス停の撤去115万5000円。北星ハイヤーへの乗り合いワゴン購入補助金として161万2000円を助成した。  
運行実績について、平日の町内線の利用人数は1便当たり1.7人から2.7人、運行率は花月線が78.8%、ふるさと公園線や徳富大和線は43～45%だった。土日祝日は、ふるさと公園線は少し増えるものの、他は平日より少ない利用人数、運行率になっている。

**交通事故抑制支援事業**

決算額 0円

令和4年度限定で、65歳以上の方を対象に「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置」の購入と自家用車への設置に要する費用の2分の1（上限2万円）を助成することにしていましたが、問い合わせは数件あったものの、制度の利用はなかった。  
令和5年度は実施していないが、今後は、住民からの要望があれば実施を検討する。



**庁舎建設事業**

決算額 6781万5000円

令和4年度は「外構工事その2」として、駐車場の舗装仕上げ、区画線引き、植樹を施行し、5月末に完了した。これにより平成31年3月に着手した工事がついに完了となった。総事業費は24億9616万120円であった。



**図書館運営事業**

決算額 3174万4678円

図書館と学校図書室の包括業務委託料が2698万8000円。蔵書資料購入費が449万9878円である。  
○令和4年度からの民間委託での運営について  
**効果**▶施設長や図書館司書などの人材確保に係る町の業務の削減。これまでの人材がそのまま継続移行した部分もあるため、運営についても良好である。また、新規事業として、GIGAスクール推進のため、夏休み中にプログラミング教室等も開催した。  
**課題**▶今後、民間のノウハウをどのように取り入れていくのが課題である。

